

勇者のみ (1951)

ONLY THE VALIANT

メディア 映画
ジャンル 西部劇 ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1952/05/01
公開情報 WB

【解説】
恋敵の同僚を自分の身代わりに危険な任務に就かせたと誤解された騎兵隊大尉が、汚名返上に、隊の荒くれや出来損ない兵で構成したゲリラを率い、援軍到来までアパッチを引きつけ、最後に撃破するという、低予算西部劇や戦争映画の一分野と言ってい “砦攻防戦” ものの佳作。何しろ部下の全員が何らかの形で彼に恨みを持っていて、大尉ランス（ペック）はいつ殺されてもおかしくないという環境。彼はそうした悪意を逆にアパッチとの戦いに差し向けていく。自らの手を汚さずに厄介者の始末をつけるーという風にも見えなくはないが、大体どの兵も心のわだかまりが解けた所で潔く死んで、ランスは悪者にならずにすむが、何か複雑なさっぱりしない性格で、こういう人物を演じるとペックはすこぶる感じが出る。W・ボンドはいつものヴィクター・マクラグレンもどきで可もなく不可もなし。それよりは鬚もじゃの “死の騎兵” を名乗る軍曹 R・チェイニーのアクの強さが魅力的。

【クレジット】		
監督	ゴードン・ダグラス	Gordon Douglas
製作	ウィリアム・キャグニー	William Cagney
原作	チャールズ・マークイス・ウォーレン	Charles Marquis Warren
脚本	エドマンド・H・ノース ハリー・ブラウン	Edmund H. North Harry Brown
撮影	ライオネル・リンドン	Lionel Lindon
編集	ウォルター・ハンネマン ロバート・S・セイター	Walter Hannemann Robert S. Seiter
音楽	フランツ・ワックスマン	Franz Waxman
出演	グレゴリー・ペック バーバラ・ペイトン ウォード・ボンド ギグ・ヤング ロン・チェイニー・J r ネヴィル・ブランド ジェフ・コーリイ ワーナー・アンダーソン スティーヴ・ブロディ ダン・リス	Gregory Peck Barbara Payton Ward Bond Gig Young Lon Chaney Jr. Neville Brand Jeff Corey Warner Anderson Steve Brodie Dan Riss リチャード・ランス大尉 キャシー・エヴァーシャム ティモシー・ギルクライスト伍長 ウィリアム・ホロウェイ軍曹 ケブシャン ベン・マードック軍曹 ジョー・ハーモニー ラトレッジ オンストット ジェリー・ウィンターズ中尉

テリー・キルバーン
ハーバート・ヘイズ
アート・ベーカー
ヒュー・サンダース
マイケル・アンサラ
ナナ・ブライアント

Terry Kilburn
Herbert Hayes
Art Baker
Hugh Sanders
Michael Ansara
Nana Bryant

サクストン
ドラム大佐
ジェニングス大尉
エヴァーシャム大尉
タクソス
ドラム夫人